

新春 所感

(協)熊谷流通センター
理事長 大久保 政一



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成20年の新春をお健やかに迎えのことに、心からお慶び申し上げます。

顧みますと昨年は、政治面で、綱紀肅正が求められた年でありました。1月には福島・和歌山に次いで宮崎の首長が官製談合で逮捕され、また、大臣や政治家の政治資金の透明性に対する関心や、年金等に対する関心、中央官庁次官の接待漬けに対する批判など、いずれも法律や倫理の遵守を厳格に求めるものでありました。民間でも、白い恋人や赤福に代表されるような有名メーカーが、製造日の偽装等で社会的糾弾を受けるなど、いまやコンプライアンスの徹底は、官民共例外ではなくなってきております。

経済面では、国内経済で「ゆるやかに回復している」としているものの、中小企業の実感としてはなお乏しく、業種間や企業間格差が目立った一年でありました。本年は、昨年来から続いている個人消費の伸び悩みに加え、原油価格の高騰や小麦・とうもろこし等食料品価格の引き上げから、さらなる足踏みが予想され、また、米国の景気失速懸念や中国・インドへの過剰投資抑制懸念等から国際経済も不透明感が残る状況が続いています。

こうした不透明な時代であるからこそ、組合と組合員の皆様がその英知を結集し、企業倫理遵守とともに、地道な企業努力と大胆な発想により、生き残りを図ってゆく必要があると考えます。

さて、当組合は、今年の総会で役員人事の若返りを図り、また、期中で、事

トピックス 2p

役員年頭所感

ニュース 3p

青経会ベトナム視察研修

ニュース 4p

理事会報告

ニュース 4p

特別委員会と常任委員会が発足

実上休止していた委員会活動を見直すことにいたしました。団地創設以来30年余を経た今日、新たな観点で、当組合の付加価値向上を皆様と一緒に検討してまいりたいと考えておりますので、一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

結びに組合員の皆様にとりまして、今年一年が実り多い年となりますよう、組合の発展と組合員のご繁栄を、心からご祈念申し上げまして新年の挨拶いたします。



青経会海外研修旅行で04年には中国上海一昨年は台湾の台北と東アジア有数の大都市を視察して廻り、今年には青経会としては二度目の訪問となるベトナムでした。個人的には初めてでしたが、あまり事前知識のないまま出発。ベトナム最大の都市であるホーチミン市は人とモーターバイクで溢れかえった活気のある街でした。国民性であろう人懐こい人達に今や日本でもお馴染みの地元料理。知人にベトナム最良の「ト」関連経営者がいるのですが、彼曰く「元気がなくなると時々パワーを貰いに行く」のだとか。しかしバイクの多さといったら驚くばかり。今回のように現地に明るい社長の同伴がなかったらたぶん市内中心部の道路の横断は出来なかつたかも知れないくらい一日中一晩中でも走り回っているパワーにはびっくり。しかも小さなバイクに2人乗りは当たり前。中には3人、4人(?)乗りで走り回っていたりもしていて、このバイクの波を横断歩道でもないところを歩行者が徘徊する。しかも上手に。歩行者はバイクの集団が押し寄せようと横断途中でスピードを緩めないのがルール。我々ツーリストでもこれが意外とスムーズに溶け込めることを考えれば、彼らの運転技術も結構なものなのでしょう。しかし一晩中でもバイクで走り回るあのパワーを仕事に向けたら大変な……と思いつつあつという間の3日間でした。



Photo Essay



理事長 大久保 政一
 企業の寿命は30年という
 が熊谷流通センターは35
 年の歴史を持っている。頑
 張ろう
 ◆15,530円 ◆108円



副理事長 藤沢 貞彦
 安心で安全な健康に良い
 商品開発と、新しい販路
 の開拓
 ◆17,000円 ◆105.50円



副理事長 大久保 和政
 健康な企業の創造、
 「そうじ力」で自分改革
 ◆16,200円 ◆109円



副理事長 清水 龍男
 「経営革新」創造と開拓。
 ◆15,200円 ◆101円



理事 中沢 実
 元気社員づくり、元気営業
 店づくり、元気お客様づく
 りに取り組む
 ◆16,480円 ◆113円



理事 藤間 憲一
 次世代への継承、適所最
 適モデルの創造
 ◆14,500円 ◆118円



理事 岩崎 研太郎
 昨年父米寿 来年私還暦
 時を越えて 己が走る起
 業魂をつなぐ
 ◆12,000円 ◆98円

◆ 役員の皆様には年頭所感を語って頂きました。
 ◆ は株価予想(平成二十年三月末日経平均)
 ◆ は円ドル相場予想(平成二十年三月末十七時)

年頭所感

平成二十年



理事 佐藤 良孝
 先行、不透明な時代、ユー
 ザーニーズを掴んでビジ
 ネスチャンスのゲットを!!
 ◆13,800円 ◆103円



理事 飯島 賢二
 お客様の立場から見る目
 「離見の見」今年はこの原
 点に戻ってすべてを考
 える!
 ◆16,150円 ◆114.20円



理事 宮川 進
 共生共繁・基本に戻り、悪
 しきを探す前に優る事
 を探す。
 ◆14,900円 ◆112.50円



理事 武藤 正
 『水くれ三年』商いも同じ
 心で・・・
 ◆16,000円 ◆108円



理事 小林 肇
 「積小為大」細かく小さな
 積重ねを厭わず、更なる
 バランスを磨く
 ◆16,500円 ◆117円



理事 石山 洋一
 日々生成、生きる限り
 成長する
 ◆17,200円 ◆117円



理事 小菅 克祥
 本年11月8日で創立60
 年を迎えます。記念すべ
 き年を成長の年にします。
 ◆14,083円 ◆104.80円



専務理事 及川 亨
 「意気衝天」文字通り、天
 を衝く気概で取組みたい
 と思います。
 ◆14,500円 ◆108円



監事 不破 武久
 新たな50年に向けて、事
 業基盤強化策への始動。
 ◆17,300円 ◆114.20円



監事 渡辺 優
 先ず魄より始めよ
 ◆15,127円 ◆104.56円



事務局長 仲俣 巧
 既定路線にとらわれず、柔
 軟な思考をもって汗をか
 く。
 ◆14,750円 ◆112.80円

青経会

ベトナム視察研修

H19.9/21~24

工場視察は女子社員から清水代表幹事への花束贈呈で始まった。当青経会メンバーである、きねや足袋ベトナム工場 H u L a p C o . l t d (フーラップ:幸福の意)の視察。同社中澤社長も事前に現地入りし、我々は大変なおもてなしをうけた。

『MAWASHINU I』『CHIDORINU I』『KAKETOSHI』など看板がかかった下では現地社員がミシンを一心に、しかも巧みに操る。

「115名の社員が日産2200足の白足袋を作っています。」とは現地駐在の五明さん。主な仕事は管理だそうだが、まだ駐在1ヶ月、言いたいことが伝えられないというもどかしさがあるようだ。それでも持ち前の明るさと若さで工場での住込み生活を送っていた。彼には滞在中ずっとお世話になった。

ベトナム進出は12年前、国営企業の足袋部門を任せられ、5年前の民営化のときに現在の工場に移った。「5年前は周りには何もなかった」と懐かしそうに中澤社長。思わず聞き返してしまうほど、工場はたくさんの家に囲まれていた。

足袋は日本古来のものと伝統にしがみついていたら、ベトナム生産という発想はなかったろう。その先見性と

12年間の関係者の苦労があればこそ今日の姿がある。折からの窓ガラスを叩く大雨を気にとめるでもなく、メンバーからは多くの質問がだされ、熱心に回答していただいた。

青経会では今回2度目のベトナム・ホーチミン。6時間の直通便で着いたタンソンニャット国際空港はまだ完成間もない。13年前、タイで乗り継ぎ2日ばかりで到着したボロ空港の面影はどこにもない。空港で一人ケータイを取り上げられたのも遠い昔のことのようだ。今回7割がケータイを持っていたが、取り上げられることはなかった。

しかし町中に出てみると、どこからともなく香るココナツバターのおい。またホーを初めとする多くの食べ物に入っているパクチーやどくだみの葉っぱ。日本人はどちらかと言うと苦手、まれに食べている人を見ると、同行のみんなから畏敬の目で見られる。

そしてバイク。数は4倍以上に増えたい。バイクに乗るのが人生のごとく、朝、昼、晩と走り回る。1台に家族中3~4人で乗る。何でも運ぶ。クラクションは鳴らす。暑いから走る。彼らは一体どこへいくのか?大いなる疑問を持った。

町の臭いとバイクの騒音、そして埃。朝のビンタイ市場のにぎわいと客よせに懸命なベンタン市場の人々の息遣い。これぞまさしくベトナムである。サイゴン大教会・中央郵便局と回ると、既視感が現実と重なり合うのにさほど時間はかからなかった。

ベトナムは新しいビルや公園などがたくさんできていて大きく変わったが、変わらないところがまだまだ残っていてうれしかった。

いろいろな歪みと大いなる可能性を秘めた国、ベトナム。次回訪れるのはいつになるのか?またどんな姿を見せてくれるのか?楽しみである。



理事会報告

9月18日理事会

《報告事項》

ソシオ所有資産の売却について
原案通り承認

10月22日理事会

《議案》

委員会規約(案)の承認について
特別委員会の設置について
原案通り承認

11月27日理事会

《議案》

常任委員会構成メンバーについて
原案通り承認

特別委員会と常任委員会が発足

去る、10月22日の理事会に於いて、「協同組合熊谷流通センター委員会規約」が承認され、新たな常任委員会及び特別委員会が設置された。

委員会は「組合の業務の執行および運営に関して、理事会の諮問事項に対し調査・研究・審議し、答申・建議する」事を任務としている。

常任委員会は、総務委員会・環境委員会・金融委員会・給油委員会・物流委員会の5委員会で構成され、11月の理事会で、それぞれのメンバー構成も承認された。

また、特別委員会として「将来計画検討特別委員会」も発足し、大久保副理事長が委員長に選任され、新たな団地像の調査・研究を行って行くこととなった。

青経会例会



青経会の10月例会は、フリートーキング形式による意見交換会を実施した。

内容は、これからの組合運営・当団地の展望等についてであったが、活発な意見交換が行われ当初予定時間を

オーバーするほど熱のこもった例会になった。なお、今回出された意見については、11月に発足する予定の将来計画検討特別委員会での検討事項として活用させて頂く予定です。

▶▶▶▶▶ 集団健康診断実施 ◀◀◀◀◀

組合の福利厚生事業の一環として行っている定期健康診断が、ティーエムクリニックの医師・看護師20名により10月9日・10日の2日間実施し、団地内企業の社員約600名が受診しました。検査項目は、労働安全衛生法の所定項目のほか、肝炎ウイルス・胃検診



(血液・X線)・骨密度・乳ガン・前立腺等のオプション検査も実施され、近年の健康志向からオプション検査の受診者も増加傾向にあります。



組合員の動き

合併

川波運送有限会社と株式会社ソシオロジテクが合併。存続会社、川波運送有限会社。但し、社名を株式会社ソシオロジテクに変更。

9月1日

株式会社サンパックスと株式会社サンパックスアサヒが合併。存続会社、株式会社サンパックス

12月10日

新規加入

イーテクノ株式会社
代表者 生貝 博
電気・管・電気通信工事業
熊谷市問屋町2-2-6

10月1日



事務局日誌

- 9月18日 正副理事長会議
- 21日 青経会視察研修
- ~24 ベトナム
- 25日 理事会
- 10月9日 健康診断(10日迄)
- 16日 正副理事長会議
- 18日 中央会来組
- 19日 青経会研修例会
- 22日 理事会
- 11月13日 商団連40周年式典
- 16日 県金融課来組
- 20日 正副理事長会議
- 27日 理事会
- 28日 県産業労働部視察
- 29日 商団連関東ブロック会議
- 12月6日 厚生年金基金説明会
- 7日 広報委員会
- 10日 青経会スタッフ会議
- 18日 正副理事長会議